社会福祉法人真庭市社会福祉協議会

令和元(2019)年度事業報告書

（自）平成31年４月１日　（至）令和２年３月31日

真庭市社協マスコットキャラクター　「社協のきょうちゃん」

社会福祉法人真庭市社会福祉協議会

理念

１　基本理念

すべての市民が安心して暮らせる地域社会の実現をめざします。

２　経営理念

〇住民主体の地域福祉を推進します。

〇適切で質の高いサービスを提供します。

〇経営体質を強化し、人財を育成します。

３　行動マインド

〇理想と誇りを持って地域福祉を進めます。

〇利用者本位で心のこもったサービスを提供します。

〇法令を遵守し、高い倫理観を持って行動します。

〇組織目標を共有し、経営能力を高めます。

〇職員としての一体感を高め、相互に協力します。

Ⅰ　事業概要

少子高齢、人口減少社会の進行などにより、地域社会や家庭の様相は大きく変容し、子育てや介護、社会的孤立の問題、貧困や権利擁護の問題等、地域における生活課題は多様化し、多様な問題を重複して抱える世帯の増加がみられています。

また自然災害発生への危機管理も重要であります。どこでも起こりうるという危機感を持ち、災害支援の備えが必要になっています。令和元年度は、新見市への災害支援を実施しました。

このような状況の中、本会の基本理念「すべての市民が安心して暮らせる地域社会の実現」を目指し、各事業に取組んで参りました。

基本計画である「第３次地域福祉活動計画」を基に事業を推進しました。

小地域福祉活動の推進については、「アウトリーチ活動」、「地域助けあい事業」に重点を置き地区社協活動の推進、福祉委員の役割の理解・活動支援他、地域福祉の充実を図りました。

介護事業については、質の高いサービス提供と経営体質改善を目指し業務改善に取り組みました。しかし、介護職員の確保は非常に厳しく大きな課題となっています。

経営体質改善として、中期経営計画を推進し、自主財源の確保に努め、市民から寄せられた社協会費や善意の寄付金、共同募金の活用について、善意銀行運営委員会や基金運営委員会等で協議して有効活用を図りました。

職員の資質向上については、本会の経営方針のもと、職員が年間の各部門計画・個人目標を掲げて業務にあたることにより、組織の目標達成に向けた体制づくり、人財育成に取り組みました。

年度末には、新型コロナウイルス感染拡大予防の対策を講じる取り組みとして、各種事業をやむなく中止・延期しました。

以下、分野ごとに事業内容を報告します。

Ⅱ　重点事業

真庭市社会福祉協議会の理念に基づき、すべての市民が安心して暮らせる地域社会の実現をめざして、質の高い福祉サービスの提供と、住民主体の地域福祉を推進するため、令和元年(2019 年)度は、次の事業に重点をおき実施しました。

1　真庭市との連携

【目標】

地域福祉の推進及び個別具体的に必要な福祉事業の提供のため、職員及び事業用資産の確保に資する真庭市の支援を得ながら、専門性の向上とともにさらなる地域福祉活動の活性化と、真庭市福祉行政及び施策への参加・協力を行っていきます。

また、真庭市内の介護保険サービスの提供体制の確保のために介護保険サービス提供事業者としての充実を図り、障害者総合支援サービスや新総合事業などの真庭市事業の受託による福祉サービスの提供に努めていきます。

さらに、真庭市へ真庭市社会福祉協議会の実施事業に対する理解を得る働きかけと、地域福祉推進に向けた体制の整備を図るため真庭市と協議します。

【実績】

事業推進の人員の財源確保と事業推進について協議を重ねました。

また、真庭市健康福祉部各課や危機管理課と情報共有し連携を深めました。

避難行動要支援者名簿の作成においては情報提供し、協力しました。

2　第 3 次地域福祉活動計画（5 ヶ年）の事業評価の実施

【目標】

第 3 次地域福祉活動計画（平成 29 年度～令和 3 年度）については、本年度が中間年となり社会情勢の変化や社会福祉の動向を踏まえ、平成 29 年度・平成 30 年度の事業実施状況を評価し、今後の事業推進等を見据え、必要に応じた見直しを行います。

【実績】

基本理念である「すべての市民が安心して暮らせる地域社会の実現」を目指し、真庭市が積極的に取り組んでいる SDGs の提唱に賛同し、真庭市と連携を図り共に支え合う「地域共生社会」を実現するための活動を盛り込んだ、令和 3 年度までの第 3 次地域福祉活動計画見直し計画を策定しました。

第 1 回評価委員会　令和元年 11 月　7 日(木)　久世公民館
第 2 回評価委員会　令和元年 11 月 28 日(木)　久世公民館
第 3 回評価委員会　令和元年 12 月 24 日(火)　久世公民館
第 4 回評価委員会　令和 2 年　1 月 10 日(金)　久世公民館

3　中期経営計画の策定

【目標】

持続可能な経営基盤の確立を図り、限られた財源の中で効率的・効果的な事業を行い、さらに組織として経営改善に取り組めるよう令和 2 年度からの第 3 期中期経営計画を策定します。

【実績】

令和 2 年度から令和 4 年度まで、3 カ年の経営計画を策定しました。

4　地域助けあい事業の充実

【目標】

地区社協と連携した見守り活動や福祉課題の早期発見のため、全地区社協で年 2 回助けあい会議を開催します。

助けあい会議では、高齢者世帯だけでなく障がいを持った方や子育てに悩んでいる方等の情報提供により、関わりシートや見守りシートを活用し、地域での見守り活動が確実かつ継続して行えるよう、地区社協と協働し事業の充実を図ります。

【実績】

地域助けあい事業推進に向け、支援が必要な方の把握や情報共有を行う「助けあい会議」を全 34 地区社協で延べ 63 回開催し、助けあいマップ作成を通して、見守り体制の整備や支援が必要な方への見守り活動を行いました。また、関係機関と連携を図り福祉活動専門員によるアウトリーチ活動により支援が必要な方へ積極的に関わりました。

5　子育て支援事業の推進

【目標】

平成 30 年度に行った「子どもの居場所」についてのアンケート等から、子どもの居場所づくりや支援者の育成等に取り組みます。また、子育て支援団体のネットワークづくりを推進し、地域への子育て支援の理解を進めます。

【実績】

子どもの居場所づくりとして、勝山で「うきうき！サマー教室」を 2 回開催しました。また、子育て支援団体のネットワークづくりとして、情報交換会を 1 回開催しました。

②在宅福祉活動　ウ 子育て支援の推進にて掲載（P23）

6　社会福祉法人の公益的な取り組みの推進

【目標】

平成 30 年度設立した真庭地域社会福祉法人連絡会「まにわささえ愛ネット」の取り組みを推進し、制度の狭間にある課題に効率的・効果的な事業を協議・検討します。

【実績】

地域交流事業として、地域食堂（名称「おふく食堂」）を２回実施しました。

（1 回目、7 月 30 日勝山地域、2 回目、12 月 21 日北房地域）

また、通年事業として、ものバンクの実施をしました。

（ものバンク提供　45 件）

Ⅲ　事業実施項目

1　法人運営

(1)　組織運営

【目標】

地域福祉推進体制の充実及び各種事業のサービス提供体制の充実をめざします。

また、職員の専門性の向上を図るため、研修体制の充実に取り組みます。

① 理事会

【目標】

開催目標5回(平成30年度実績4回)

役員研修会の実施、責任体制の明確化、委員会組織の活性化

【実績】

●第1回理事会

日　　時　令和元年5月30日(木)13：30～

場　　所　久世公民館

出 席 者　理事11名･監事2名　事務局長他

協議事項　平成30年度事業報告、会計決算、監査報告について

定時評議員会に諮る役員候補者について他

●第2回理事会

日　　時　令和元年6月18日(火)16：00～

場　　所　久世公民館

出 席 者　理事11名･監事2名　事務局長他

協議事項　会長及び副会長の選任について

理事会・委員会の構成について他

●第3回理事会

日　　時　令和元年9月9日(月)13：30～

場　　所　久世公民館

出 席 者　理事9名･監事2名　事務局長他

協議事項　令和元年度第1次補正予算

評議員選任・解任委員の選任について他

●第4回理事会

日　　時　令和2年1月27日(月)15：00～

場　　所　久世公民館

出 席 者　理事13名･監事1名　事務局長他

協議事項　評議員選任・解任委員の選任について

評議員選任候補者の推薦について他

●第5回理事会

日　　時　令和2年3月17日(火)13：30～

場　　所　久世公民館

出 席 者　理事12名･監事2名　事務局長他

協議事項　令和元年度第2次補正予算について

令和2年度事業計画(案)、当初予算(案)について他

●第6回理事会

日　　時　令和2年3月24日(火)13：30～

場　　所　久世公民館

出 席 者　理事 12 名･監事 2 名　事務局長他
協議事項　評議員会に諮る役員候補者の選定について他

●第 7 回理事会
日　　時　令和 2 年 3 月 25 日(水)
場　　所　書面開催
協議事項　評議員会に諮る役員候補者の選定について

② 監事会（監査）
【目標】
開催目標 3 回
役員研修会の実施
【実績】
監事監査 3 回　内部監査 1 回
●平成 30 年度決算監査
日　　時　平成元年 5 月 17 日(金)10：00～
場　　所　久世保健福祉会館　社協会長室
内　　容　平成 30 年度事業及び一般会計･特別会計･財産目録の監査
出 席 者　監事　西谷　友行、大美　康雄

●令和元年(2019 年)度随時監査(第 1 回)
日　　時　令和元年 12 月 5 日(木)9：30～
場　　所　久世保健福祉会館　社協会長室
内　　容　平成 31 年 4 月～令和元年 9 月末までの監査他
出 席 者　監事　西谷　友行、布野 謙二

●令和元年(2019 年)度随時監査(第 2 回)
日　　時　令和 2 年 2 月 27 日(木)9：30～
場　　所　久世保健福祉会館　社協会長室
内　　容　令和元年 10 月～12 月末までの監査他
出 席 者　監事　西谷　友行、布野 謙二

●令和元年(2019 年)度内部監査
日　　時　令和元年 12 月
場　　所　本所・全支所
内　　容　小口現金、各種団体会計、支所施設預金通帳、共同募金通帳、
歳末たすけあい通帳、日常生活自立支援事業保管品、
法人後見事業保管品、やすらぎ入所者保管品、
金庫内保管品等の内部監査
実 施 者　國米事務局長、西田次長、佐藤総括参事、三谷総括参事

③　評議員会

【目標】

開催目標5回(平成30年度実績4回)

研修会の実施

【実績】

●第1回評議員会

日　　時　令和元年6月18日(火)13：30～

場　　所　久世公民館

出 席 者　評議員17名　会長・副会長・監事・事務局長他

協議事項　平成30年度事業報告、会計決算、監査報告について

理事及び監事の選任について他

●第2回評議員会

日　　時　令和元年9月20日(金)13：30～

場　　所　久世公民館

出 席 者　評議員12名　会長・副会長・事務局長他

協議事項　理事の選任について

令和元年度第1次補正予算について他

●第3回評議員会

日　　時　令和2年3月26日(木)13：30～

場　　所　久世公民館

出 席 者　評議員17名　会長・副会長・事務局長他

協議事項　令和元年度第2次補正予算について

令和2年度事業計画(案)、当初予算(案)について他

④　評議員選任・解任委員会

第1回　令和元年　6月　6日(木)　13：30～　久世公民館

第2回　令和元年　9月11日(水)　13：30～　久世公民館

第3回　令和2年　2月　5日(水)　 9：50～　久世公民館

⑤　業績検討会

【目標】

役職員による介護事業及び地域福祉事業の業績検討会を実施します。

【実績】

三役会で業績検討の実施

三役会議　(久世保健福祉会館)

第1回　令和元年　5月15日(水)　第2回　令和元年　9月　2日(月)

第3回　令和元年12月26日(木)　第4回　令和2年　3月　9日(月)

⑥　人財育成を目的とした人事評価制度の実施

【目標】

真庭市社会福祉協議会の理念と、行動マインドの実践や職員の経営参画意識を高める

ため、各部門計画・個人目標を掲げ業務にあたることにより、目標達成に向けた意識の向上を図り、人財の育成を目的に人事評価を実施します。

【実績】

各部門目標、個人目標を設定して業務にあたりました。特に面接を丁寧に実施し、フィードバックをしながら人財育成に取り組みました。

⑦　財務管理委員会

第１回　　令和２年３月５日(木)　久世公民館

協議事項　令和２年度地域福祉活動団体助成審査他

⑧　企画事業委員会

真庭市社協「ふるさと会員」制度、真庭市社協「緊急小口資金貸付事業」について協議しました。

第１回　令和元年 12 月 26 日(木)　久世公民館

第２回　令和２年　２月　６日(木)　久世公民館

第３回　令和２年　２月 26 日(水)　久世公民館

⑨　基金運営委員会

地域福祉活動基金は、多様化する住民の福祉ニーズに対し、福祉事業の安定的な発展を図ることを目的として設置され、地域福祉活動基金設置運営規程第４条第２項の規定により本委員会において適正に運営を行いました。

第１回　　令和２年３月 17 日(火)　久世公民館

協議事項　令和２年度基金利息予算額と事業計画他

⑩　善意銀行運営委員会

広く人々の善意の預託を受け、これを効果的に社会に還元し、もって福祉の増進を図ることを目的とする善意銀行の適正な運営のため、運営に関する事項を協議しました。

第１回　　令和２年３月 17 日(火)　久世公民館

協議事項　令和２年度予算額と事業計画他

⑪　試験委員会

正職員採用試験において、公平・公正の確保、客観的な評価、適正な人財の採用等のため本委員会を開催しました。

第１回　令和元年　６月　１日(土)　久世公民館

　　正職員及び常勤契約職員採用面接試験実施(介護職員)

第２回　令和元年　６月 11 日(火)　久世保健福祉会館

　　正職員及び常勤契約職員採用選考(介護職員)

⑫　表彰審査会

多年にわたり地域福祉の向上に携わり、その功績が顕著な者及び団体に対して本会会長から表彰状又は感謝状及び記念品を贈呈するにあたり、本会表彰規程に基づき、公平・公正な審査により被表彰者の選考を行いました。

第１回　令和元年 10 月 17 日(木)　久世保健福祉会館　会長表彰審査

⑬　地域密着型介護老人福祉施設　やすらぎ運営推進会議

やすらぎ運営推進会議は、地域密着型介護老人福祉施設やすらぎでの施設サービスを地域住民に報告し、意見、要望、助言等を受け、施設運営に反映させ、利用者の生活の向上を図ることを目的としています。このために、利用者、利用者の家族、真庭市職員、地域福祉推進委員、地域住民の代表者等と２か月毎に開催しました。

第１回　令和元年　５月　８日(水)　湯原保健福祉センター
第２回　令和元年　７月 10 日(水)　湯原振興局
第３回　令和元年　９月 11 日(水)　湯原振興局
第４回　令和元年 11 月 13 日(水)　湯原振興局
第５回　令和２年　１月　８日(水)　湯原振興局
第６回　令和２年　３月 11 日(水)　湯原振興局

⑭　地域密着型通所介護事業所運営推進会議

地域住民の意見、要望、助言等を受け、事業運営に反映させ、利用者の生活の向上を図ることを目的としています。委員会は、年２回開催しました。

第１回　令和元年　５月　８日(水)　湯原保健福祉センター
第２回　令和元年 11 月 13 日(水)　湯原振興局

⑮　社会福祉大会実行委員会

第１回　令和元年　８月 20 日(火)　久世公民館
第２回　令和元年 10 月　４日(金)　久世公民館
第３回　令和元年 11 月 21 日(木)　久世公民館

⑯　研修会

ア　人事管理制度研修会

日時　令和元年　６月 20 日(木)　18：30～　　64 名参加
場所　久世公民館
内容　（１）目標管理の実施について
　　（２）働き方改革法案の施行について
講師　(株)経営開発センター　代表取締役社長　野崎悦雄氏

イ　職員研修会

日時　令和元年８月７日(水)　10：00～　　36 名参加
場所　勝山保健福祉センター
内容　職場の定着力アップ出張講座
講師　人材育成サポーター　　成川彰浩氏

ウ　交通安全講習会

日時　令和元年 10 月 15 日(火)　18：00～　落合老人福祉センター　71 名参加

場所　令和元年 10 月 18 日(金)　18：00～　湯原保健福祉センター　51 名参加

内容　「交通事故防止について」

講師　真庭警察署　交通課　近藤課長・億野巡査長

エ　役員・評議員・職員研修会

日時　令和元年 11 月 8 日(金)　18：00～　75 名参加

場所　久世公民館

内容　「地域共生社会の実現に向けた社協の取り組みについて」

～権利擁護の視点から、地域における個別支援の取り組みの強化～

講師　社会福祉法人岡山県社会福祉協議会

福祉支援部生活支援班　副部長　吉田光臣氏

オ　人事評価者研修会

日時　令和 2 年 1 月 9 日(木)　18：00～　14 名参加

場所　久世公民館

内容　（1）評価者としての基本的考え方の習得

（2）評価者によるバラツキの予防に向けた評価スキルの習得

講師　(株)経営開発センター　代表取締役社長　野崎悦雄氏

(2)　財務運営

【目標】

中期経営計画の実施と、真庭市の財政支援の確保を図り、福祉事業の財源となる社協会費、善意寄付、各種募金の増強や、外部資金の確保に取り組み、介護事業所の効率的運営による事業収支の改善を図ることで、真庭市社会福祉協議会の財務基盤の強化をめざします。

【実績】

①　自主財源の増強　社協会費、善意寄付金収入、共同募金収入、収益事業収入

ア　社協会費　会費実績額 14,205,500 円〔一般 11,290,500 円　特別 2,915,000 円〕

（前年度対比　△108,300 円　一般　△137,300 円　特別　29,000 円）

本支所名	一般会費	特別会費	合　計
本所(久世)	2,371,000 円	780,000 円	3,151,000 円(　54,000 円)
北房支所	1,427,000 円	434,000 円	1,861,000 円(△22,000 円)
落合支所	3,161,000 円	652,000 円	3,813,000 円(△122,000 円)
勝山支所	1,914,000 円	402,000 円	2,316,000 円(△7,800 円)
美甘支所	379,000 円	40,000 円	419,000 円(△8,000 円)
湯原支所	786,500 円	247,000 円	1,033,500 円(　14,500 円)
中和支所	154,000 円	35,000 円	189,000 円(　13,000 円)
八束支所	590,000 円	220,000 円	810,000 円(△22,000 円)
川上支所	508,000 円	105,000 円	613,000 円(△8,000 円)
計	11,290,500 円	2,915,000 円	14,205,500 円(△108,300 円)

イ　善意寄付金収入

実績額 647 件(前年度対比△6 件)　15,904,960 円(前年度対比 4,524,244 円)

本支所名	件　数	金　額
本所(久世)	131(△11)	2,803,329 円(△289,664 円)
北房支所	96(△8)	1,498,000 円(△56,424 円)
落合支所	157(8)	2,508,500 円(180,010 円)
勝山支所	92(△2)	1,269,000 円(154,446 円)
美甘支所	25(7)	401,000 円(160,924 円)
湯原支所	59(0)	960,631 円(△179,369 円)
中和支所	6(△1)	100,000 円(△50,000 円)
八束支所	59(0)	1,070,500 円(△291,679 円)
川上支所	21(0)	630,000 円(232,000 円)
車両寄付	1(1)	4,664,000 円(4,664,000 円)
合　計	647(△6)	15,904,960 円(4,524,244 円)

ウ　赤い羽根共同募金実績額　6,083,822 円(前年度対比 △155,201 円)

歳末たすけあい募金実績額 3,108,151 円(前年度対比 △ 72,349 円)

本支所名	赤い羽根共同募金	歳末たすけあい募金	合計
本所(久世)	1,513,580 円	661,951 円	2,175,531 円(67,478 円)
北房支所	752,766 円	420,000 円	1,172,766 円(△84,906 円)
落合支所	1,379,713 円	768,900 円	2,148,613 円(△109,501 円)
勝山支所	1,068,234 円	531,300 円	1,599,534 円(△59,180 円)
美甘支所	210,666 円	111,000 円	321,666 円(△7,854 円)
湯原支所	421,483 円	214,400 円	635,883 円(△5,856 円)
中和支所	82,666 円	45,600 円	128,266 円(△7,978 円)
八束支所	368,467 円	198,400 円	566,867 円(△31,814 円)
川上支所	286,247 円	156,600 円	442,847 円(12,061 円)
合　計	6,083,822 円	3,108,151 円	9,191,973 円(△227,550 円)

②　真庭市の負担金及び補助金の確保

【目標】

負担金 35,490 千円、補助金 30,600 千円、負担金補助金合計 66,090 千円を確保します。

【実績】

真庭市補助金等〈(　) は前年度対比〉	合計 66,409,500 円(	△45,500 円)
a 負担金　(福祉活動専門員の人件費)	計 35,490,000 円(	0 円)
(a)福祉活動専門員設置負担金	32,220,000 円(	0 円)
(b)日常生活自立支援事業専門員負担金	3,270,000 円(	0 円)
b 補助金	計 30,919,500 円(	△45,500 円)
(a)福祉活動専門員以外人件費補助金	30,600,000 円(	0 円)
(b)新総合事業(ささえあいデイサービス)補助金	319,500 円(	△45,500 円)

③　介護保険関係事業の経営改革

【目標】

サービス区分ごとの経営管理体制の強化による経営の安定化を図ります。

【実績】

財務体質改善に向け、各事業所管理者・サービス提供責任者等で協議検討し、サービスの質の向上や事故防止、業務改善に取り組みました。しかし人材確保に苦慮することとなり、十分なサービス提供ができにくい状況がありました。

④　外部資金の活用

【目標】

公的資金、民間企業の助成等、情報を細かくチェックし、外部資金を活用した事業が展開できるよう、財源確保への取り組みを強化します。

【実績】

「24 時間テレビ愛は地球を救う」に申請し、訪問入浴車の寄贈を受けました。

(3)　指定管理事業

【目標】

湯原保健福祉センターについては、介護保険サービス事業の経営の安定化を図ることに努めます。

また、真庭消防署湯原分署の移転工事中は安全管理に努めながら業務を推進します。

【実績】

指定管理料　　合計 41,914,000 円 前年度対比(779,000 円)

ア 湯原保健福祉センター管理料　　29,648,000 円(指定期間 平成 27～平成 31 年度)

イ 中和デイサービスセンター管理料　2,289,000 円(指定期間 平成 30～令和 2 年度)

ウ 八束老人福祉センター管理料　　3,436,000 円(指定期間 平成 30～令和 2 年度)

エ 川上老人福祉センター他２施設管理料

6,541,000 円(指定期間 平成 30～令和 2 年度)

2　地域福祉事業

(1)　住民参加活動の推進

①　小地域福祉活動の推進

地域住民が主役となって活動に参加し、地域づくりを進める中で「地域の福祉力」を高め、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現に向けた取り組みをします。

ア　地区社協組織の活性化

【目標】

地域助けあい事業の推進を図るとともに、地域での見守り体制の整備に向け福祉活動専門員が積極的に関わり、住民主体の活動提案や支援を行います。

住民座談会等を開催します。(開催目標　地区社協ごとに年１回以上)

助けあい会議（地区社協ごと年２回）の開催と助けあいマップ作成による地域での見守り体制の整備及び、困りごとを抱えた（高齢者世帯・障がいを持った方や子育てに悩んでいる方等）人への支援を行います。

地区社協助成金について、全地域で各種地域福祉活動に有効に活用できるよう検討を

行います。

【実績】

「地域助けあい事業」の推進に向けて、支援が必要な方の把握や情報共有を行う「助けあい会議」を全地区社協で開催し、助けあいマップを通して、見守り体制の整備や困りごとを抱えた方への支援を行いました。

関係機関との連携を図りながら、福祉活動専門員が地区社協とともに見守りを定着していくきっかけとなりました。

各地区社協単位に市内で 63 回助けあい会議を開催しました。

	北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上
地区社協数	5	7	9	5	1	4	1	1	1
助けあい会議開催数	10	12	17	8	2	8	2	2	2
地区社協による定期的な見守りが必要な世帯	76	254	117	127	31	109	35	51	69
社協職員と専門職の訪問が必要な世帯	3	9	5	9	4	7	1	2	3
助けあい事業のサービスを勧めたい世帯	5	23	6	11	2	6	2	4	10
地域での見守り件数	483	1,092	1,719	672	444	1,185	400	684	144

地区社協助成金の交付

市内地区社協 34 地区(前年度対比 1 地区増)

活動助成金 7,888,600 円(前年度対比 186,217 円)

○北房支所(5 地区)

・中津井せんだんの会福祉部　助成額　236,150 円
・呰部地区社協　助成額　240,700 円
・阿口竜王会　助成額　61,000 円
・上水田ふれあい助けあい隊　助成額　298,800 円
・水田むらづくりの会　助成額　269,000 円

○落合支所(7 地区)

・落合地区社会福祉協議会　助成額　459,450 円
・天津地区社会福祉協議会　助成額　288,300 円
・津田地区むらづくり推進委員会　助成額　167,150 円
・木山地区社会福祉協議会　助成額　301,600 円
・美川地区社会福祉協議会　助成額　295,300 円
・河内地区福祉の村づくり　助成額　243,850 円
・川東地区社会福祉協議会　助成額　309,650 円

○本所(9 地区)

・宮芝・町西福祉の会　助成額　242,800 円
・久世まちなか社会福祉協議会　助成額　265,550 円
・ひまわり福祉の会　助成額　169,200 円
・遷喬東地区社会福祉協議会　助成額　200,000 円
・川南地区社会福祉協議会　助成額　261,000 円

・草加部地区社会福祉協議会　助成額　152,800 円
・米来地区社会福祉協議会　助成額　282,700 円
・樫邑地区社会福祉協議会　助成額　92,500 円
・余野地区社会福祉協議会　助成額　72,550 円

○勝山支所(5 地区)
・勝山地区社会福祉協議会　助成額　338,800 円
・川西地区社会福祉協議会　助成額　299,500 円
・月田地区コミュニティ協議会　助成額　253,100 円
・富原地区高齢者福祉のむらづくり推進委員会　助成額　242,000 円
・城北村づくりの会福祉部　助成額　96,350 円

○美甘支所(1 地区)
・美甘地区地域福祉推進委員会　助成額　250,150 円

○湯原支所(4 地区)
・湯原東地区社協　助成額　238,200 円
・湯原南地区社協　助成額　143,400 円
・湯原西地区社協　助成額　123,600 円
・二川ふれあい地域づくり委員会　助成額　148,250 円

○中和支所(1 地区)
・中和地区社協　助成額　130,000 円

○八束支所(1 地区)
・八束地区社協　助成額　393,650 円

○川上支所(1 地区)
・川上地区社協　助成額　321,550 円

イ　ふれあい・いきいきサロンの推進

【目標】

身近な地域で気軽に参加でき、「豊かに暮らせる福祉コミュニティ」づくりを目的としてサロンの未設置地区への普及促進を図ります。

また、現行のサロン継続に向け、メニューや貸出物品の情報提供、サロンの集い等を開催し情報交換の場を設けるなど活動を支援します。

福祉活動専門員がサロンに積極的に出向き、地域住民のサロン推進への関わりや地域福祉活動への理解を進めます。未設置地区においては、出前サロンを行い、サロン設置を推進します。

また、サロンを活用した移動販売利用事業を周知し、希望のサロンに対応します。

【実績】

「ふれあい・いきいきサロン」の設置推進と活動助成

活動助成金 4,121,799 円(歳末助成 537,000 円含む)(前年度対比△34,368 円)

地区別設置数 187 サロン(前年度対比 1 サロン増)　　(サロン数)

北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上	全域
24	40	27	45	8	16	2	13	11	1

「出前サロン」の開催等サロンの普及啓発活動を実施し新規 1 サロン設置しました。
情報提供はしていますが、サロンでの移動販売利用は希望がありませんでした。
引き続きサロンへ周知し利用に結びつくよう啓発していくことにしました。

ウ　福祉委員活動の充実

【目標】

身近な地域の見守り、アンテナ役として役割が浸透するように、福祉委員研修会や住民座談会等で具体的な役割の提示をします。

各種資料を活用し福祉委員研修会を開催します。(開催目標各支所年 2 回以上)

活動活性化のため回覧板の活用や、社協だより・ホームページ・ＭＩＴ等で具体的な活動について周知します。

地域での見守りに加え、地域福祉活動への参加や福祉に関する情報提供等具体的な活動につながるよう説明を行います。

【実績】

福祉委員研修会を市内 12 会場で開催し、社会福祉協議会の取り組みや福祉委員の手引きやＤＶＤを活用し、福祉委員の役割について説明しました。

ＤＶＤで地域の福祉委員の活動を参考にされ、声掛け、見守り活動や引継ぎなどが定着するようになりました。

福祉委員数計 849 名　　研修等開催数計 17 回　　(名、回)

	北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上
福祉委員数	98	241	134	140	53	79	13	56	35
研修等開催数	2	1	2	4	2	2	1	2	1

エ　見守りネットワークの構築

【目標】

福祉委員と民生委員児童委員をはじめ地域住民との連携・情報交換の場づくり、福祉情報等の提供を積極的に行います。

住民座談会や助けあい会議を開催し、見守り活動の充実を図るため福祉委員や民生委員児童委員等との連携を強化します。

救急医療情報キット設置及び更新時における見守り活動の充実を図ります。

地域の福祉課題を早期に発見し必要な支援に結び付けるため、地域助けあい事業による見守り活動の推進を行います。

真庭市が行う見守りネットワーク事業に参加し、関係機関等との連携を図ります。

【実績】

各地区社協単位に市内で 52 回座談会を開催し、地区社協、福祉委員、民生委員児童委員との連携や情報交換を行いました。また、地域助けあい事業の説明や救急医療情報キットの設置・更新を行いました。

開催回数　(回)

北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上
10	7	9	8	2	8	1	2	5

オ　小地域福祉活動を支える人財の育成

【目標】

地域福祉活動の活性化や意識の高揚のために、研修会や意見交換会を開催します。

地域福祉推進委員会、地域福祉推進委員代表者会議、地域福祉活動担い手研修会を開催します。

【実績】

（ア）地域福祉推進委員会

【目標】

開催目標各支所3回以上

【実績】

地域福祉推進委員会　委員数計91名、開催計21回　(名、回)

	北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上
推進委員数	12	14	13	15	8	10	5	9	5
委員会回数	4	2	1	2	2	3	3	2	2

（イ）地域福祉推進委員代表者会議

【目標】

開催目標年3回以上

【実績】

具体的な協議事項の準備不足により、開催することができませんでした。

（ウ）地域福祉活動担い手研修会の開催

【目標】

開催目標年1回

【実績】

地域福祉推進委員、地区社協関係者、福祉委員、地域助けあい事業協力会員等を対象に研修会を開催しました。また、地域助けあい事業での有料サービス協力会員の活動発表を行い、身近な困りごとの有料サービスの活動について学びました。

日時　令和元年11月19日（火）14：00～　参加者65名

場所　蒜山振興局

演題　～日頃からの住民参加型の見守りや支えあい～
「その活動の必要性と意義」

講師　堀川涼子氏（美作大学生活科学科社会福祉学科教授）

②　当事者及び当事者組織の支援

市内で活動する福祉団体等の活動を自立に向けて支援します。また、当事者の相談や、社会参加、問題解決等に向けて支援します。

ア　当事者の社会参加支援

【目標】

当事者の交流・社会参加を支援するため、真庭市や真庭地域自立支援協議会と連携して各種交流事業を開催するとともに情報提供を行います。

【実績】
第8回真庭地域ふれあいスポーツフェスティバルの開催にあたり、実行委員会委員として出席し、また後援団体として協働しました。
ボランティアスタッフ、参加団体等増え交流できる事業となっています。

イ　各種当事者組織の自主運営に向けた、活動支援及び組織化
【目標】
（ア）当事者組織の自主運営に向けて、真庭市及び各団体と活動内容を協議しながら活動支援を行います。また、受託による事務運営を継続して行います。
（イ）情報提供と会員相互の交流に向けた取り組みを行います。
a　真庭市老人クラブ連合会の活動を支援します。
b　真庭市手をつなぐ親の会の活動を支援します。
c　真庭市遺族会連合会の活動を支援します。
【実績】
市内で活動する福祉団体等の事務局を担当し、活動支援を行いました。また、真庭市の基本方針を受け、説明を行うとともに自主運営に向けた支援を行いました。
福祉団体事務局運営補助金6,535,000円
（ア）真庭市老人クラブ連合会の活動支援
【目標】
会員の目標9,500名。自立に向けた取り組み。
【実績】
会員数7,090名(前年度対比△764名)　市補助金9,700,000円
総会、役員会、社会福祉大会、老人クラブ大会、スポーツ大会、研修等。
（イ）真庭市手をつなぐ親の会の活動支援
【目標】
情報提供と会員相互の交流に向けた取り組み。自立に向けた活動の支援。
【実績】
会員数81名(前年度対比△8名)　市補助金250,000円
総会、役員会、県大会、研修交流会等。
（ウ）真庭市遺族会連合会の活動支援
【目標】
遺族会の活動が円滑にできるよう支援。
【実績】
会員数887名（前年度対比△118名）市補助金847,000円
総会、役員会、県代表者大会等。

ウ　当事者組織との協働活動の推進
【目標】
就労支援事業所・作業所へ必要な情報を提供し、真庭地域自立支援協議会への参加により障がい者（児）支援を推進します。
社会福祉大会等において各作業所の製品等を展示・販売し、作業所の紹介を行います。
【実績】
真庭地域自立支援協議会へ参加し、情報交換や事業協力を行いました。また、第3回

「真庭福祉フェス」（12 月 14 日開催）では障がいに関する理解の促進を行うとともに、真庭地域の社会資源紹介や災害時に役立つグッズ紹介、ワークショップ体験を行いました。

③　ボランティア活動者の育成支援

地域活動の中で見えてきたニーズを基に、人材の発掘と育成を図ります。

ア　ボランティア市民活動センター及びボランティアステーションの機能の強化

【目標】

ボランティア活動がしやすい環境を整え、ボランティア活動の活性化を目指します。

（ア）ボランティアコーディネートを行います。

（イ）ボランティア活動に関する情報収集と情報提供を行います。

（ウ）ボランティア保険の加入を推進します。（掛金の一部助成）

（エ）市内ボランティア団体、市民活動への活動支援を行います。（地域福祉活動団体への支援）

（オ）ボランティア活動の広報啓発

【実績】

（ア）ボランティアコーディネート

本所内に「ボランティア市民活動センター」を設置し、ボランティア活動のコーディネート、支所及び関係機関との連絡調整等を行いました。

地区別ボランティア相談件数 159 件（前年度対比△43 件）　（件）

北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上	本所
7	26	7	20	2	42	9	5	4	37

市内ボランティアの組織化による交流促進及び活動の活性化支援、ボランティアの安全確保、市内ボランティア活動及び市民活動への助成

ボランティアステーションの機能強化。社協各支所内に「ボランティアステーション」を設置し、ボランティア登録を行い、ボランティア相談窓口を開設し、相談に応じました。

地区別ボランティア登録者数　878 名（前年度対比△197 名）　（名）

北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上	本所
8	262	57	153	30	24	11	98	17	218

（イ）ボランティア活動に関する情報や書き損じはがきの活用などを社協だよりで広報し情報提供しました。

（ウ）ボランティア保険の加入促進（掛金の一部助成）

安心して活動できるよう加入促進しました。

（エ）市内ボランティア団体、市民活動への活動支援（地域福祉活動団体への支援）

各種福祉関係団体助成の実施

助成団体 12 団体　　助成金 1,013,285 円（前年度対比△79,715 円）

・北房更生保護女性会　　助成額　82,000 円
・落合ヘルスボランティア連絡協議会　　助成額　75,486 円
・手作りおもちゃボランティア「チャチャ」　　助成額　29,000 円
・月田ボランティアグループ　　助成額　139,000 円
・富原福祉のむらづくりボランティアグループ　　助成額　250,000 円
・湯原ボランティアの会　　助成額　10,000 円

・子育て応援隊　助成額　133,359 円
・真庭市蒜山地区福祉運動会実行委員会　助成額　28,000 円
・真庭市ボランティア連絡協議会　助成額　146,000 円
・どーなつの会　助成額　34,200 円
・まにわ障害者フライングディスククラブ　助成額　18,240 円
・高次脳機能障害家族会「おしゃべり会」　助成額　68,000 円

（オ）社協だより等でボランティア活動の広報啓発を行いました。

イ　災害ボランティアセンターなどの災害緊急対応体制の整備

【目標】

（ア）平成 30 年 7 月豪雨災害を教訓として、災害ボランティアセンター設置・運営訓練を行うとともに、災害対応マニュアルの見直しを行います。また、岡山県や岡山県社協等の行う災害ボランティアセンター関係研修に参加し、災害時の対応に備えます。

（イ）平成 30 年 7 月豪雨災害の教訓をもとに、真庭市との協定について見直しを行います。

【実績】

（ア）・平成 30 年 7 月豪雨災害を教訓とするため、真庭市で災害が起きた場合の対応を含めた研修会を開催しました。

日時　令和元年 8 月 6 日（火）10：00～　参加者 159 名
場所　真庭市落合総合センター
内容　「西日本豪雨災害での
　　災害ボランティアセンターの取り組みと今後の課題」
講師　総社市社会福祉協議会　常務理事・事務局長　佐野祐二氏

・令和元年度災害ボランティア養成講座を開催しました。

第 1 日目　災害ボランティアセンターの役割について講義を受けました。
日時　令和元年 9 月 13 日（金）13:30～　参加者 45 名
場所　落合老人福祉センター
内容　「地域福祉と災害時のボランティア」
　　～「誰の　何のために」　大切なこと
講師　日野ボランティアネットワーク　森本智喜氏
内容　「真庭市の避難所等の状況について」
講師　真庭市危機管理課　山本訓義氏

第 2 日目　災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施しました。
日時　令和元年 9 月 21 日（土）10：00～　参加者 51 名
場所　落合老人福祉センター
講師　日野ボランティアネットワーク　森本智喜氏

災害ボランティア設置運営訓練を実施し、災害時でのボランティアの役割など学ぶことができました。

またマニュアルを活用した訓練を行い、状況に応じたマニュアルが必要となり、更新のきっかけになりました。

・新見市災害ボランティアセンターへ職員を派遣し、運営支援を行いました。
令和元年 9 月 5 日～9 月 30 日まで

（イ）平成 30 年 7 月の豪雨災害を受け、市主催の「地域防災説明会」に参加し、地域の

防災力向上に向けた説明を受けました。各地域で開催された説明会では、自主防災組織の設立や組織の強化、また個別の避難計画作成に向け現状と課題が協議されました。

ウ　ボランティアの養成・育成

【目標】

（ア）夏のボランティア体験事業を実施します。

（イ）災害ボランティア養成講座を開催します。

【実績】

（ア）夏のボランティア体験事業　参加者数 256 名（前年度対比 8 名増）（名）

北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上
33	94	41	40		20	28		

事前研修及び事後研修は 6 か所で実施（北房･落合･久世･勝山･湯原･蒜山会場）

（イ）災害ボランティア養成講座の開催

イ　災害ボランティアセンターなどの災害緊急対応体制の整備にて記載(P18)

エ　ボランティアネットワークの推進・活性化

【目標】

（ア）市内ボランティア団体の連携・交流・情報交換を行います。

ボランティア交流会を開催します。（開催目標 2 回）

ボランティア研修会を開催します。（開催目標 1 回）

（イ）真庭市ボランティア連絡協議会等の活動を支援します。

ボランティアの活動が活性化するよう「社協だより」の活用や社協のホームページ等で情報を発信し、住民参加と理解を促進します。

（ウ）各関係機関と連携した活動の展開を図ります。

【実績】

（ア）研修会や情報交換会を実施しました。

・ボランティア研修・交流会ｉｎ落合

日時　令和元年 8 月 6 日（火）10：00～　　参加者 72 名

場所　真庭市落合総合センター

・ボランティア交流会ｉｎ勝山

日時　令和 2 年 2 月 8 日（土）10：00～　　参加者 75 名

場所　勝山文化センター

（イ）真庭市ボランティア連絡協議会等の活動支援

ボランティア活動の活性化に向けて「社協だより」やホームページ等で情報発信を行いました。

（ウ）　地域と連携を図り、ボランティア団体等へ研修会等の情報提供を効果的に行いました。

④　地域包括ケアシステムの構築

【目標】

地域の中で援助を必要とする人のいきいきとした暮らしを実現するため、福祉課題の早期発見・早期対応のための仕組みづくりに向け、地域包括ケアシステム構築を進める中心機関である地域包括支援センターと連携、協働し取り組みます。また、小地域ケア会議

の必要性について提言していきます。
【実績】
地域包括支援センターと連携し、地域での見守りネットワーク活動等について協議を行いました。生活支援コーディネーター等専門職と協力し、援助を必要とする人の早期発見、早期対応の仕組みづくりに向け取り組みを進めました。

⑤　新たな公共活動の開発・推進
【目標】
地域の課題解決を図るため、ＮＰＯや企業等との協働による新たな支援活動の開発に向けた検討を行います。
住民参加による「居場所づくり」や「外出支援」など、新たな地域活動を推進します。
【実績】
住民参加による新たな地域福祉活動を支援しました。
・地域を拠点とした居場所づくりの支援【八束地区　他】
・地域で訪問活動や買い物支援【湯原・見明戸地区、美甘・黒田地区　他】

(2)　個別支援活動の推進
①　ニーズの早期発見・早期支援体制の確立
【目標】
福祉活動専門員による※アウトリーチ活動を積極的に行うとともに、地区社協、民生委員児童委員、福祉委員や地域住民による見守り活動を基盤とし、地域ニーズの早期発見を行い、適切な支援につなげていきます。
※アウトリーチ（地域踏査）：実際に地域に出かけて調べること。
ア　困りごとの早期発見・早期支援の仕組みづくりを推進します。
（ア）地域助けあい事業による見守り、支援活動を推進します。
（イ）助けあい会議で「助けあいマップ」作成による支援が必要な世帯（高齢者世帯・障がいを持った方や子育てに悩んでいる方等）の把握を行います。
（ウ）見守りの連携強化を図ります。

イ　福祉活動専門員によるアウトリーチ活動の推進と個別支援を行います。

ウ　全地区社協で住民座談会を開催し、住民の生活課題の把握に努めます。
【実績】
ア　困りごとの早期発見・早期支援の仕組みづくりに向け、地区社協座談会で福祉委員や民生委員等による見守り活動の必要性について説明と依頼を行い、「地域助けあい事業」により地域での見守りをおこないました。
また、全地区社協で助けあい会議を開催し、「助けあいマップ」を作成し、見守りネットワークづくりを進めました。

イ　福祉活動専門員により要援護世帯の訪問活動を行い、他職種と連携し、適切な福祉サービスの利用に繋げました。アウトリーチ活動延べ回数－819 回

ウ　地区社協での住民座談会の開催についてはP14 にて掲載しています。

② 在宅福祉活動

ア 高齢者支援の推進

【目標】

一人暮らし高齢者、高齢者世帯等の在宅での生活を支えるため、各種在宅福祉サービスを実施します。

（ア）一人暮らし高齢者のつどい、配食サービス、外出支援等を行います。

（イ）福祉機器介護用品貸出事業、福祉車輌貸出事業、声の広報事業を行います。

（ウ）福祉移送サービス・真庭市介護予防・日常生活支援総合事業(生活支援サービス事業)・高齢者等給食サービス事業【真庭市からの受託】に取り組みます。

（エ）お助け訪問事業【真庭市からの受託】を行います。

（オ）ささえあいデイサービス事業を行います。

【実績】

（ア）・配食サービス

［実施支所］美甘（週１回ボランティアの協力により実施）

・歳末配食サービス

［実施支所］勝山、美甘、中和、八束、川上

・歳末友愛訪問

［実施支所］本所(久世地域)、落合

・歳末ひとり暮らしのつどい

［実施支所］北房、本所(久世地域)

・歳末外出サポート

［実施支所］湯原

・コミニティカフェみつがしわ

［実施支所］八束

（イ）エ 全般的支援の推進にて記載 (P23)

（ウ）真庭市食の自立支援事業［真庭市受託事業］ 〈( ) は前年度対比〉

支所名	配食数（食）	金額（円）
北房支所	237 (237)	213,300 (213,300)
八束支所	2 (2)	1,800 (1,800)
合 計	239 (239)	215,100 (215,100)

真庭市介護予防・日常生活支援総合事業

(生活支援サービス事業)［真庭市受託事業］ 〈( ) は前年度対比〉

支所名	配食数（食）	金額（円）
北房支所	479 (121)	431,100 (108,900)
勝山支所	555 (233)	499,500 (209,700)
湯原支所	601 (351)	540,900 (315,900)
中和支所	168 (46)	151,200 (41,400)
八束支所	425 (249)	382,500 (224,100)
川上支所	232 (1)	208,800 (900)
合 計	2,460 (1,001)	2,214,000 (900,900)

高齢者等給食サービス事業［真庭市受託事業］　〈（　）は前年度対比〉

支所名	配食数（食）	金額（円）
北房支所	2,018（　△83）	1,816,200（　△74,700）
勝山支所	2,421（　427）	2,178,900（　384,300）
湯原支所	1,508（　△238）	1,357,200（　△214,200）
中和支所	269（　△40）	242,100（　△36,000）
八束支所	1,556（　△205）	1,400,400（　△184,500）
川上支所	963（　147）	866,700（　132,300）
合　計	8,735（　8）	7,861,500（　7,200）

（エ）お助け訪問事業［真庭市受託事業］

在宅福祉サービス　訪問介護事業に掲載　(P30)

（オ）ささえあいデイサービス事業　〈（　）は前年度対比〉

支所名	利用者延べ人数	利用者負担金	助成金額（円）
北房支所	246（△33）	246,000（△33,000）	123,000（△16,500）
中和支所	83（　14）	91,300（　15,400）	41,500（　7,000）
八束支所	175（△92）	192,500（△101,200）	87,500（△46,000）
川上支所	135（　20）	148,500（　22,000）	67,500（　10,000）
合　計	639（△91）	678,300（△96,800）	319,500（△45,500）

イ　障がい者(児)支援の推進

【目標】

地域で自立した生活や社会参加が可能になるよう関係機関等と連携し、必要なサービスを提供します。

（ア）福祉機器介護用品貸出事業、福祉車輌貸出事業、声の広報事業を行います。

（イ）福祉移送サービス事業【真庭市からの受託】を行います。

【実績】

（ア）声の広報は、毎月の社協だよりや広報まにわの情報をボランティアの協力によりＣＤに録音し、音声でご自宅にお届けしました。利用者数 13 名（前年度対比△1）

（イ）福祉移送サービス［真庭市受託事業］

福祉車両 8 台で市内全域を対象にサービスを実施しました。

利用者の身体状況の変化等により、利用は減少しました。

福祉移送サービス事業［真庭市受託事業］　〈（　）は前年度対比〉

支所名	事務件数	金額（円）
本　所	―	333,824（　197,734）
北房支所	677（△288）	3,258,762（△1,123,703）
落合支所	144（△80）	558,006（　△259,524）
勝山支所	252（　103）	1,666,722（　714,138）
美甘支所	153（　20）	1,322,135（　353,121）
湯原支所	177（△15）	960,146（　△58,741）
合　計	1,403（△260）	8,099,595（　△176,975）

勝山、美甘支所は車検費用も受託金に含まれるため、増減にはその金額が反映されています。

ウ　子育て支援の推進

【目標】

地域住民や関係機関等と連携し、子育てサロンの設置や子育て支援ボランティアの支援を行うとともに、身近に相談できる関係づくりや情報提供に努めます。また、子育て支援団体間のネットワークづくりに継続して取り組み、地域へ子育て支援の理解を進めていきます。平成30年度に行ったアンケート等から子どもの居場所づくりや支援者の育成等について取り組みます。

【実績】

子育て支援事業については、勝山小学校区のうきうき！サマー教室で学習支援を行い、軽食を一緒に楽しみました。次年度からの学習支援及び居場所づくりのきっかけとなり、勝山振興局へ引き継ぐことができました。

うきうき！サマー教室（勝山小学校区での子どもの居場所づくり）

第1回　令和元年　8月　9日(金)　勝山文化センター　　参加者21名

第2回　令和元年　8月21日(水)　勝山文化センター　　参加者21名

また、子育て支援団体の情報交換会を開催し、団体間のネットワークづくりに取り組みました。

第1回　令和元年10月24日(木)　勝山保健福祉センター　　参加者9名

エ　全般的支援の推進

【目標】

福祉機器介護用品貸出事業、福祉車輌貸出事業、たすけあい号貸出事業、レクリェーション用具貸出等を実施し、在宅の高齢者、障がい者(児)及び住民の地域福祉活動を支援します。

老朽化した備品のメンテナンスや整備・更新を適宜行います。

【実績】

福祉器具介護用品貸出事業、福祉車両貸出事業、たすけあい号貸出事業により在宅介護者の支援及び福祉活動団体等の支援を行いました。

福祉機具･物品等の貸出実績　　(件数)

貸出物品 車両	車いす	ベッド等 介護機器	福祉体験 学習用品	福祉車両	たすけあい号 マイクロバス	レクリエーション用具	その他
貸出件数	166	90	19	134	121	160	58

③　相談支援の実施

ア　相談窓口機能の充実

【目標】

相談援助の専門職として、的確、適切な対応に努めます。また、ふれあい・いきいきサロンや地区社協活動等を活用し「ふくし巡回相談」に継続して取り組み、住民が身近な場所で相談できるよう進めます。

ふくし巡回相談開催目標102回（市内全域）

【実績】

社協職員研修、事例検討会等、職場外研修(まにわ暮らしの何でも相談会等)への参加により、担当職員の資質向上に努め円滑で迅速な相談援助を実施しました。

ふくし巡回相談実施回数89回（市内全域）、サロンや地区社協事業へ出向き、困りごとなどの相談を受けています。

イ　心配ごと相談所の開設【真庭市からの受託】

【目標】

身近な総合相談窓口として、問題解決に向けて適切な相談援助を行います。また、併せて社協だよりや告知放送等で啓発を行います。

【実績】

事業費総額950,000円(前年度対比±0円)(内受託収入950,000円)

地区別相談件数計62件(前年度対比△39件)　(件)

北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上	本所
8	12	20	2	1	3	1	1	0	14

相談所開設日等の周知(MIT、告知放送、社協だより等での周知)

ウ　生活福祉資金の貸付事業【県社協からの受託】

【目標】

民生委員等と連携し、利用者（借受世帯）の生活指導や償還指導に努め、経済的自立と生活の安定を支援します。

貸付の対象とならない人への支援も関係機関等と連携をとりながら取り組みます。また、生活困窮者自立相談事業と連携・協働し、生活困窮世帯への適切な支援を行います。

【実績】

令和元年度新規貸し付け　0件

令和元年度相談受付件数15件

事業費総額574,952円（前年度対比△2,498,643円)(内受託収入548,000円)

令和元年度末現在貸付件数7件(前年度対比△2件)　(貸付件数)

北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上
1	2	2	1	0	0	0	0	1

エ　日常生活自立支援事業【県社協からの受託】

【目標】

行政等の関係機関と連携し、利用者の権利を守る事業として適切なサービスの提供に努めます。今後利用者の増加が見込まれることを踏まえ、幅広く市民に権利擁護に関する情報を提供し、その必要性を周知します。

（ア）生活支援員研修会を開催します。(年1回)

（イ）関係部署と情報共有を図り、利用者の地域生活支援に取り組みます。

（ウ）県社協が主催する研修会や連絡会等に参加し、専門性の向上や地域との連携に努めます。

（エ）利用者への適切なサービス提供と職員の資質向上を図るため、研修を行います。

【実績】

実利用者数(令和元年度末 契約者数)43件(前年度対比2件)

令和元年度相談援助件数　3,626件

事業費総額8,464,017円(前年度対比1,102,688円)(内受託収入4,086,800円)

（件数、名）

	北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上
利用件数	3	14	13	4	3	2	0	2	2
生活支援員（実動数）	3	9	9	4	2	2	0	1	2

・令和元年度権利擁護フォーラム
　令和元年 8 月 30 日(金) きらめきプラザ
・日常生活自立支援事業生活支援員研修会・情報交換会
　令和元年 12 月 3 日(火) 久世公民館
・日常生活自立支援事業専門員連絡会議出席（年 3 回開催）
・成年後見制度情報交換会出席（年 4 回開催）
　成年後見人制度の啓発促進に向け、地域包括支援センターや関係機関との情報交換や連絡会議の定期開催に参加しました。

(3) 地域福祉推進のための環境整備の推進

① 福祉教育の推進

ア 児童・生徒へ福祉教育の推進

【目標】

出前福祉講座の実施や地域型福祉学習事業助成等により、思いやりの心を持った人材育成に取り組みます。

【実績】

（ア）地域型福祉学習指定校数 合計 20 校(前年度対比△2 校)

助成総額 460,418 円(前年度対比△9,241 円)　（学校数）

北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上
1	6	3	5	0	2	1	1	1

小学校 16 校　中学校 3 校　高等学校 1 校

（イ）学校福祉体験支援 支援回数 20 回

車いす体験、アイマスク体験、高齢者疑似体験、手話体験講座、ボランティア講座点字体験講座、当事者の講話等の支援を実施しました。　（回）

北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上
3	4	6	4	0	1	0	2	0

イ 地域住民、医療・福祉関係者等専門職へ福祉教育の推進

【目標】

各種講演会や研修会・地区社協活動推進等により地域住民の福祉に対する理解と関心を深めます。また、専門職の地域福祉や小地域福祉活動への理解を進めます。

【実績】

各地区社協で住民座談会を実施し、地域福祉活動の周知、啓発を行いました。(全 52 回)

地域福祉活動担い手研修会を実施し、各地域での福祉活動の情報交換や情報共有等を行い、小地域活動への理解を深めました。

社会福祉大会の開催や、地域ケア会議等で社協活動の周知、啓発を行いました。

② 広報啓発活動の推進

【目標】

ア 社協活動が十分に周知できるよう広報活動を組織的・計画的に実施します。

イ 広報誌「社協だより」の内容充実、ホームページやツイッターと事業の連動など、広報手段の積極的な活用を行います。

ウ イメージキャラクターを活用します。

社協活動により親しみと関心を持ってもらうため、広報手段（社協だより、ホームページ、ツイッター）や社会福祉大会などのイベント、支所・事業所活動に社協のイメージキャラクター「社協のきょうちゃん」の着ぐるみや帽子、キャラクターグッズ等を活用します。

エ 広報委員会の活性化

広報委員会を開催します。開催目標 4 回（平成 30 年度実績 4 回）

オ 真庭市社会福祉大会を開催します。

住民への周知や啓発を行いながら、福祉意識の向上や社協活動の紹介等を目的に、「真庭市社会福祉大会」を開催します。

【実績】

ア 職員間や広報委員会等での会議や打ち合わせを行いながら広報誌発行の年間計画を作成し、幅広い世代の方に興味を持っていただけるような広報誌の作成に努めました。

イ 広報委員会を 4 回開催し、社協だよりの内容における振り返りや反省を行い、より良い誌面作りに努めました。また、ホームページやツイッターの定期的な更新に併せ、社協だより以外での社協活動の広報活動や、リアルタイムでの福祉情報の提供を行いました。

ウ 社協のイメージキャラクター「きょうちゃん」の着ぐるみ、ぬいぐるみ、着ぐるみ帽子を共同募金活動及び社会福祉大会等の各種イベントで活用しました。また、社協だよりや共同募金グッズ等にキャラクターを積極的に活用し、キャラクターの親しみやすいイメージ作りに努めました。

エ 広報委員会を開催しました。

第 1 回 令和元年 5 月 13 日(月) 久世公民館
第 2 回 令和元年 9 月 30 日(月) 久世公民館
第 3 回 令和元年 12 月 10 日(火) 久世公民館
第 4 回 令和 2 年 2 月 26 日(水) 久世公民館

オ　社会福祉大会の開催

令和元年 12 月 7 日(土)12：00～　勝山文化センター　　参加者約 500 名

第１部　式　典

真庭市社会福祉協議会長表彰（個人 33 名、16 団体）

民生委員児童委員 20 名　社会福祉施設関係 3 名

優良社会福祉推進 9 名、16 団体　永年勤続 1 名　感謝状 1 団体

真庭市老人クラブ連合会長表彰　個人 8 名、2 団体

第２部　記念上映

映画「こどもしょくどう(字幕版)」

③　調査・研究活動の推進

【目標】

福祉に対する地域ニーズを把握し、ニーズに即した福祉活動を展開できるよう調査研究を行います。

第 3 次地域福祉活動計画の中間見直しに併せ、必要とされるアンケート及びニーズ調査を行います。

【実績】

ア　地域助けあい事業を地区社協と一体的に進め、助けあい会議で生活困窮者やひきこもりの方の支援についての説明や理解とともに情報提供を呼びかけました。

イ　子育て支援事業について職員プロジェクトにより、真庭市の子育て支援や子どもの貧困の状況等について真庭市等と連携し情報収集を行い、きっかけとして居場所づくりとして学習支援の場を開き真庭市へつないでいくことになりました。

ウ　生活困窮者支援について、相談窓口での適切な相談支援と併せ、支援メニューの拡充や世帯への継続的な支援を行う為、市内の生活福祉資金貸付事業の相談状況やまにわささえ愛ネット「ものバンク」の利用状況を整理し、他市町村の生活困窮者支援の取り組みについて調査を行いました。

真庭市社協緊急小口資金貸付事業（新規事業）を令和 2 年度から事業開始することとしました。

④　社会資源の活用・改善・開発

【目標】

ア　アウトリーチ活動や住民座談会での地域課題解決に向け、市や関係機関への提言を行います。また、地域における広域的な事業の取り組みについて、市内社会福祉法人・施設等と協議を行います。

イ　地域ケア会議等で取り組む社会資源把握や資源マップ（制度・サービス等）作成を関係機関と協働して取り組みます。

【実績】

地域ケア会議の一員として参加し、地域課題の解決に向け、関係機関と協働し、取り組みを進めました。

⑤　住民の権利擁護の推進

【目標】

ア　日常生活自立支援事業の啓発と利用促進を図ります。

イ　成年後見制度の啓発と利用促進を図ります。

ウ　法人後見事業を実施します。

真庭市社会福祉協議会が法人として、成年後見制度における成年後見人、同保佐人、同補助人となり、判断能力が不十分な方の保護、支援を継続して行います。

（ア）法人後見支援員情報交換会を行います。（年２回）

（イ）関係部署と情報共有・連携を図り、利用者の地域生活を支援します。

（ウ）県社協が主催するフォーラムや連絡会等に参加し、専門性や資質向上を図り地域との連携に努めます。

（エ）法人後見運営委員会を適宜開催し、適正な事業運営を図ります。

（オ）住民の権利擁護に関するワンストップ相談支援機関として、中核的支援機関（権利擁護センター等）の必要性は高まっており、設置に向け真庭市や関係機関・団体等と協議を行います。

エ　事業実施における個人情報の取り扱いについて、地域住民に理解を求め、個人情報を適切に保護できる仕組みづくりを行います。

【実績】

ア、イ　地区座談会や助けあい会議、行政等関係機関との連携により「日常生活自立支援事業」や「成年後見制度」の啓発・利用促進を図りました。

ウ　法人後見事業の実施

受任件数　7件　　相談援助件数 487件

事業費総額　3,438,639円（前年度対比 43,524円）　　（名）

	北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上
利用者数	0	1	1	0	1	2	0	2	0
（後見）	0	1	1	0	0	1	0	2	0
（保佐）	0	0	0	0	1	1	0	0	0
（補助）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活支援員（実動数）	0	1	1	0	1	2	0	1	0

・法人後見運営委員会の開催

第１回　令和元年　7月　5日（金）　久世公民館

第２回　令和元年 11月 12日（火）　久世公民館

第３回　令和２年　1月 20日（月）　久世公民館

・法人後見支援員研修会

令和元年 12月　1日（日）　久世公民館

・権利擁護フォーラム

令和元年　8月 30日（金）　きらめきプラザ

・家事関係機関との連絡協議会
令和元年　9月25日(水)　岡山家庭裁判所
・法人後見専門員連絡会
令和元年　7月26日(金)　きらめきプラザ
令和2年　1月17日(金)　きらめきプラザ
・第1回管内地域保健従事者研修会
令和元年　8月19日(月)　久世保健福祉会館
・意思決定支援ガイドライン説明会
令和元年11月25日(月)　きらめきプラザ
・成年後見制度情報交換会（年4回開催）
成年後見人制度の啓発促進に向け、地域包括支援センターや関係機関との情報交換や連絡会議の定期開催に参加しました。
・事業活動発表
令和元年　8月30日(金)　きらめきプラザ
令和元年12月　1日(日)　久世公民館

エ　地域福祉推進における個人情報保護と地域で共有できる仕組みづくり
地域助けあい事業で行う「助けあい会議」や座談会等で、個人情報の保護や書類の管理等について説明し、適切な「情報保護」と「情報提供」について地域住民の理解を深めるよう努めました。

⑥　評価体制の整備
【目標】
地域福祉活動計画進捗状況の管理と評価
現在推進している第3次地域福祉活動計画（平成29年度～令和3年度）について、令和元年度が中間年となり平成29年度･30年度事業の評価や検証を行う必要があります。また、策定後の社会情勢の変化や社会福祉の動向を踏まえ、見直しを行い2019年度以降の事業に反映させるため、地域福祉活動計画評価委員会を設置します。
【実績】
第3次地域福祉活動計画（平成29年度～令和3年度）の評価や検証を行い、また社会情勢の変化や制度改正等に対応するため、委員8名による評価委員会を設置し、評価を行いました。
第1回　令和元年11月　7日(木)　久世公民館
第2回　令和元年11月28日(木)　久世公民館
第3回　令和元年12月24日(火)　久世公民館
第4回　令和2年　1月10日(金)　久世公民館
評価を行うとともに、計画後期の事業に反映させるため、「第3次地域福祉活動計画見直し計画」を策定しました。

3　在宅福祉サービス

(1)　訪問介護事業（介護予防訪問介護事業、障害者総合支援事業、お助け訪問事業【真庭市からの受託】を含む）

【目標】

利用者の尊厳を守り、住み慣れた地域において安心して暮らせるよう、自立支援サービスに努め、利用者満足度100%をめざします。

ア　利用者個々のニーズにあった、適切なサービスを提供します。

（ア）年間研修計画及び個人目標により自己研鑽・自己啓発に努めます。

（イ）利用者理解と接遇力、コミュニケーションの向上を図ります。

（ウ）多職種と連携を図り、早期に問題把握・発見し利用者に満足のいくサービスを提供します。

イ　業務管理体制の強化により、適切なサービスを提供し、職員の一体化をめざします。

（ア）職員間の連携を図りサービスの質の向上と維持に努めます。

（イ）特定事業所加算を継続し、介護報酬の増額と業務の効率化を図ります。

（ウ）毎月定期的なヘルパー会議と、必要に応じ単発的にミーティングを行い、サービスの質の向上に努めます。

ウ　多職種及び地域福祉部門と連携し、地域包括ケアの一員として積極的に寄与し、また医療知識の習得のため研修に積極的に参加します。

【実績】

介護保険では終末期の利用者が増え、短期間ではありますが一日複数回の訪問で増収につながりました。新規の依頼も増えていますが、介護職員の人員確保が困難な状況であり、希望通りの訪問回数や訪問時間にそえない状況が続いています。

また、障害者総合支援事業では利用者の入院や施設入所、介護保険への移行により減額となりました。

お助け訪問では南事業所のべ利用人数は345名、のべ回数は1,476回でした。

北事業所のべ利用人数は117名、のべ回数は517回でした。お助け訪問利用は、介護予防訪問やシルバー人材センターへの移行で減少しました。

ア　事業所内会議を開催し、サービス内容の見直し、サービス内容の統一の徹底を図りました。

資格取得では、介護福祉士資格を2名が取得しました。

イ　特定事業所加算が算定できる体制を継続し、担当地区を超えて事業所全体で協力し業務を実施しました。

ウ　多職種の研修会や外部研修に参加し、知識の習得と連携を図りました。

訪問介護（介護予防訪問介護）事業　　〈（　）は前年度対比〉

事業所名	利用者負担（円）	介護報酬（円）	合計
訪問介護南事業所	6,679,571 （　842,236）	52,207,800 （ 2,961,743）	58,887,371 （ 3,803,979）
訪問介護北事業所	3,121,890 （ △21,675）	27,812,371 （　219,497）	30,934,261 （　197,822）
合　計	9,801,461 （　820,561）	80,020,171 （ 3,181,240）	89,821,632 （ 4,001,801）

訪問介護（介護予防訪問介護）事業　　延べ 24,026 回 21,127 時間 34 分

月	訪問介護南事業所		訪問介護北事業所		合計	
	回数	時間	回数	時間	回数	時間
4 月	1,342	1,139:01	633	611:27	1,975	1,750:28
5 月	1,356	1,163:59	630	609:05	1,986	1,987:04
6 月	1,356	1,152:20	620	600:40	1,976	1,957:00
7 月	1,518	1,279:42	668	648:47	2,186	1,928:29
8 月	1,404	1,182:46	670	599:14	2,074	1,782:00
9 月	1,406	1,186:58	608	587:22	2,014	1,774:20
10 月	1,455	1,230:24	652	634:38	2,107	1,865:02
11 月	1,370	1,151:58	634	603:51	2,004	1,787:49
12 月	1,377	1,153:54	629	603:06	2,006	1,756:00
1 月	1,280	1,079:17	583	560:32	1,863	1,639:49
2 月	1,310	1,085:35	556	542:44	1,866	1,628:19
3 月	1,400	1,167:43	569	552:31	1,969	1,720:14
合 計	16,574	13,973:37	7,452	7,153:57	24,026	21,127:34

障害者総合支援（居宅介護・重度訪問介護・同行援護）事業

〈（　）は前年度対比〉

事業所名	利用者負担（円）	事業報酬（円）	合計
訪問介護南事業所	6,545 （△57,725）	8,061,995 （△2,296,815）	8,068,540 （△2,354,540）
訪問介護北事業所	874 （　754）	2,578,666 （　94,376）	2,579,540 （　95,130）
合　計	7,419 （△56,971）	10,640,661 （△2,202,439）	10,648,080 （△2,259,410）

障害者総合支援（居宅介護・重度訪問介護・同行援護）事業

月	訪問介護南事業所		訪問介護北事業所		合計	
	回数	時間	回数	時間	回数	時間
4月	222	228:20	82	69:00	304	297:20
5月	202	203:55	73	61:30	275	265:25
6月	197	207:05	59	48:30	256	255:35
7月	192	197:25	65	54:30	257	251:55
8月	164	169:25	55	43:30	219	212:55
9月	186	192:00	62	50:30	248	242:30
10月	202	203:50	69	56:30	271	260:20
11月	208	214:50	65	53:00	273	267:50
12月	197	202:55	55	44:30	252	247:25
1月	172	169:45	57	46:00	229	215:45
2月	180	182:25	58	49:00	238	231:25
3月	190	197:39	61	49:30	251	247:09
合 計	2,312	2369:34	761	626:00	3,073	2,995:34

お助け訪問事業［真庭市受託事業］　〈（　）は前年度対比〉

事業所名	訪問時間(基準額)	利用回数（回）	金額（円）
南事業所	20分以上45分未満	0（　△6）	2,664,000（　△669,360）
	45分以上	1,480（△367）	
北事業所	20分以上45分未満	97（△30）	897,620（　△69,000）
	45分以上	420（△14）	
合　　計		1,997（△417）	3,561,620（　△738,360）

(2)　訪問入浴介護事業(介護予防訪問入浴介護事業、障害者訪問入浴サービス事業［真庭市からの受託］を含む)

【目標】

利用者の尊厳を守り、住み慣れた地域において安心して暮らせるよう、在宅生活を支えます。また、安全・快適なサービスの提供を行うことで、信頼される事業所をめざします。

ア　真庭市全域をカバーする組織運営

（ア）親切、丁寧、即対応により利用者ニーズに応えます。

（イ）車輌の始業前点検を実施します。

（ウ）設備点検を定期的に行い、安全施行に徹します。

イ　利用者一人ひとりの希望の実現に向けた個別ケアの提供ができる人財を育成します。

（ア）年間研修計画及び個人目標により自己研鑽・自己啓発に努めます。

（イ）利用者理解と接遇及び、コミュニケーションの向上を図ります。

（ウ）事業所内研修を実施し、職員の意識、介助技術の向上を図ります。

（エ）報告、連絡、相談を徹底し、利用者本位のサービス提供を行います。

（オ）利用者一人ひとりに合った介助方法を統一し、サービス提供を行います。

ウ　多職種との連携により、安全で快適なサービスを提供します。

医療機関、各サービス事業所、居宅介護支援事業所と連携しながら、きめ細やかな対応をすることにより、利用者の安全を確保するとともに、快適な入浴となるよう事業を推進します。

利用者の立場に立って思いやりを持ったサービス提供に努めます。

【実績】

新規契約は前年比 24%増となりました。終末期の利用者も増加傾向にありますが、安定した訪問件数の確保ができています。

障害者（児）入浴は、対象者が 1 名増え月の訪問件数が 2.6 件と前年比 44%増となっています。

1 日の平均稼動訪問件数は昨年の 4.9 件から 5.2 件と増加しました。

ア　安全施業に努め、市内全域にサービス提供をしました。また美咲町と鏡野町へのサービス提供も行っています。

イ　職員間で情報の共有を図り、安全、安心なサービス提供に努めました。

利用者本位のサービス提供に努め、利用者、ご家族とのコミュニケーションを密に図り、日々サービスを丁寧に行いました。

介助方法の確認等その都度行い、事故なくサービス提供が行えました。

ウ　居宅介護支援事業所、関係機関と連携し、在宅生活の支援を行いました。

訪問入浴介護（介護予防訪問入浴介護）事業　〈（　）は前年度対比〉

事業所名	利用者負担（円）	介護報酬（円）	合　計
訪問入浴介護南事業所	1,713,026 （ 62,406）	15,476,554 （ 721,474）	17,189,580 （ 783,880）

訪問入浴介護南事業所

月	人数	回数	月	人数	回数
4 月	27	106	10 月	28	106
5 月	26	100	11 月	27	110
6 月	24	95	12 月	30	110
7 月	27	113	1 月	31	113
8 月	26	107	2 月	31	113
9 月	27	113	3 月	35	137
			合 計	339 (平均 28.25)	1,323

障害者（児）訪問入浴事業［真庭市受託事業］

利用者延べ件数　32 件（10 件増）　〈（　）は前年度対比〉

事業所名	利用者負担(円)	受託金(円)	合計
訪問入浴介護 南事業所	21,250 (△6,250)	378,750 (131,250)	400,000 (125,000)

(3) 通所介護事業(介護予防通所介護事業を含む)

【目標】

利用者が住み慣れた我が家での自立した生活を送れるよう、その心身機能の低下予防、孤独感の解消とご家族の介護負担の軽減を図ります。

ア　多様化、個別化する各利用者のニーズに対応できるサービス提供をめざします。

（ア）送迎時にも安全に配慮し、安心して利用して頂ける体制を整えます。

（イ）毎日の車輌及び施設内設備の安全確認を行い、事故防止に努めます。

（ウ）部門及び個人目標に沿ったサービス提供の実現をめざします。

（エ）増加・多様化する認知症への対応の質を向上し、サービス利用に対してご本人やご家族に信頼を置いて頂けるよう努めます。

（オ）地域密着型の事業所として、地域の関係者や各団体とも連携をとり、地域に開けた明るい事業所をめざします。

イ　日常生活動作の維持向上に重点を置いたサービスを提供します。
無理なく楽しく体を動かせるような体操やレクリェーションを実施します。

ウ　全身の機能低下予防、疾患リスクの低下のため口腔ケアを行います。

【実績】

利用者実績年間延べ3,127名。前年度比227名減。1日の利用者数は平均10.72名と前年度より0.67名の減でした。減の理由としては、利用者の重度化により常に在宅にいて、体調不良による入院や欠席が多くなったためと考えられます。

ア　利用者の状態に適切に対応できるよう、ご家族やケアマネージャーからの情報や各自の気づきをその都度伝達確認し、サービスの実施に努めました。

（ア）事故、急変予防のため送迎時にも利用者様及び車両の安全に心がけ、職員間で声かけ確認を行いました。

（イ）関連設備、物品について日々点検確認を行い、事故防止に努めました。

（ウ） 安全を第一に考えた目標を職員間で共有し、毎日のサービス提供に繋げました。

（エ）様々な症状をみせる認知症についての理解を深め、ご本人ご家族ともに安心して利用していただけるよう心がけています。

（オ）地域密着型事業所として、関係の方々と連携を取り、ボランティアや学校行事の受け入れも実施できました。

イ　家での生活動作に困らないよう、提供するレクリエーションや体操により自然に身体機能の維持をつなげることができました。

ウ　全身疾患に影響する口腔機能の維持を目指した口腔体操を行い、食後の口腔ケアにより、保清にも努めました。

通所介護（介護予防通所介護）事業　〈(　)は前年度対比〉

事業所名	利用者負担（円）	介護報酬（円）	合計
通所介護湯原事業所	4,252,362 (△446,623)	20,074,758 (△1,592,437)	24,327,120 (△2,039,060)

通所介護(介護予防通所介護)事業　実人数平均 42 名　延べ実人数 3,127 名

月	実人数	延べ人数	月	実人数	延べ人数
4 月	43	262	10 月	43	272
5 月	39	275	11 月	45	252
6 月	40	259	12 月	43	256
7 月	42	277	1 月	40	245
8 月	43	268	2 月	43	232
9 月	41	256	3 月	44	273
			合 計	507 (平均 42.25)	3,127

(4)　短期入所生活介護事業(介護予防短期入所生活介護事業を含む)

【目標】

介護者の介護負担の軽減を図り、利用者が自立した日常生活を送れるよう適切なサービスを提供します。

ア　在宅で安定した生活ができるよう、生活習慣の習得や心身機能の維持向上につながるサービスの提供を行います。

イ　利用者理解と接遇力、コミュニケーションの向上を図ります。

ウ　他の事業所との連携を強化し、適切な個別対応を行います。

【実績】

前年度の空床日数は 289 日、今年度は 363 日でした。稼動実績 75.2%で、前年度より 5%減少しています。利用者の生活歴や病歴を考慮し、身体状況に合わせたサービス提供を行い、心身機能の維持に努めました。

短期入所生活介護（介護予防短期入所生活介護）事業　　〈(　) は前年度対比〉

事業所名	利用者負担（円）	介護報酬（円）	合　　計
短期入所生活介護事業所	3,421,158 (△85,436)	7,781,239 (△491,987)	11,202,397 (△577,423)

短期入所生活介護（介護予防短期入所生活介護）事業

月	延べ人数	月	延べ人数
4 月	91	10 月	93
5 月	96	11 月	101
6 月	74	12 月	104
7 月	81	1 月	84
8 月	95	2 月	80
9 月	96	3 月	106
		合　計	1,101

(5) 地域密着型介護老人福祉施設(特別養護老人ホームやすらぎ)

【目標】

ア　運営の基本方針

（ア） 入所者の尊厳を守り、穏やかに楽しく生活できるサービスの提供を実施します。

（イ）地域密着型介護老人福祉施設として、地域住民の代表、利用者及び家族等による運営推進会議を開催し、地域住民の意見を運営に反映させていきます。

（ウ）運営推進委員を中心として、地域住民・ボランティアとの交流を推進します。

イ　組織管理

（ア）利用者本位の施設運営に心がけます。

（イ）協力病院、協力歯科医院との連携強化により入所者の健康維持を図ります。

（ウ）個人としてだけでなく、チームとしての介護技術の向上をめざします。

（エ）年間研修計画により認知症及び重度化に対応のできる職員の育成を行います。

（オ）運営推進会議等の意見を取り入れ、効率のよい運営方法を検討していきます。

ウ　安全管理及び防火管理

（ア）感染予防等各種職員研修を実施し、施設の健全管理に努めます。

（イ）腰痛予防を意識した介護方法の実践を行います。

（ウ）防災に対して、器具、設備等の点検を行うとともに、自然災害及び火災発生時の総合避難訓練（避難、誘導、通報、初期消火等）を実施し、入所者を安全且つ迅速に避難誘導できるよう備えます。

【実績】

令和元年度の入所者は3名、退所者4名で、退所から入所までの日数は70日でした。入所者の入院日数は158日、空床日数は計189日、利用率は96.75%でした。前年度の空床日数は582日であり、利用率は6.72%増加しました。

ア　湯原ボランティアの会に、月行事などで入所者とのコミュニケーションや車いす移動の協力をしていただいています。また、湯本温泉館からタオル、湯原ボランティアの会からは不用布をカットしたものの寄付があり、おしりふき等に活用しています。

イ　年間研修計画において、「高齢者虐待」「感染症」「認知症」について外部研修を計画し、受講した職員が講師役となって内部職員研修を行い、介護技術等の向上に努めました。

ウ　感染予防の職員研修を年2回、火災想定の通報、避難、消火訓練を年2回行いました。また自然災害時の避難・応急対策計画を作成しました。

地域密着型介護老人福祉施設(特別養護老人ホームやすらぎ)〈(　)は前年度対比〉

事業所名	利用者負担（円）	介護報酬（円）	合計
特別養護老人ホーム「やすらぎ」	13,935,661 (　△35,265)	48,561,798 (3,570,198)	62,497,459 (3,534,933)

地域密着型介護老人福祉施設利用者数(特別養護老人ホームやすらぎ)

月	延べ人数	月	延べ人数
4 月	421	10 月	491
5 月	485	11 月	480
6 月	480	12 月	496
7 月	489	1 月	462
8 月	496	2 月	396
9 月	480	3 月	459
		合　計	5,635

(6)　居宅介護支援事業、(介護予防支援事業【真庭市からの受託】を含む)

【目標】

介護保険の認定を受けた利用者が、可能な限り自宅で自立して日常生活を送ることができるように、多職種と連携しながら、最適な支援計画を作成します。

ア　年間研修計画及び個人目標により自己研鑽・自己啓発に努めます。

イ　利用者理解と接遇力、相談援助技術の向上を図ります。

ウ　地域包括ケアにおいて積極的に役割を推進し、医療・介護事業所との連携強化に努めます。

エ　利用者の意見を反映して、職員の質の向上を図ります。

オ　特定事業所加算の算定要件や管理者要件に主任介護支援専門員の配置が必須であるため、受講資格条件を満たす者は受講できるよう体制を整えます。

【実績】

ア　年間研修計画や個人目標に基づいて各種研修会へ参加し、各自の知識向上・研鑽に努めました。

イ　利用者及び家族の話を傾聴し寄り添い、その望む生活の実現のために、相談や助言を行い、迅速で適切なサービスの提供や対応に努めました。

ウ　各地域ケア会議へ参加し、地域のニーズの発見や情報収集に努めました。

エ　利用者への満足度調査を行い、満足との回答が大半でしたが、少数意見も大切にし職員の質の向上に努めました。

オ　北・南事業所とも管理者は主任介護支援専門員の資格を保持しています。主任介護支援専門員の受講ができる体制を整えており、各自必要な研修に積極的に受講できました。

居宅介護支援事業

〈上段居宅介護支援事業　下段介護予防マネジメント（　）は前年度対比〉

事業所名	作成件数	居宅介護料（円）
居宅介護支援南事業所	1,090（ 86） 95（ 7）	16,049,460（ 1,213,680） 392,240（ 30,650）
居宅介護支援北事業所	1,090（△37） 36（ 0）	17,407,950（ △670,500） 139,320（ 0）
合　計	2,180（ 49） 131（ 7）	33,457,410（ 543,180） 531,560（ 30,650）

介護支援専門員　南事業所３名　北事業所３名

(7)　障害者(児)移動介助事業[真庭市からの受託]

【目標】

歩行や車いすの介助、代読や代筆などのコミュニケーション支援などを通じて障がいのある人の自立と積極的な社会参加を促進します。

利用者の要望を把握し関係機関と連携しながら、適切なサービスを提供します。

【実績】

地域支援センター等と連携し、適切なサービス提供に努めました。

障害者（児）移動介助事業　　〈（　）は前年度対比〉

利用件数　南事業所　322 件(38 件)　北事業所　0 件（△24 件)

事業所名	利用者負担金(円)	受託金(円)	合　　計
南事業所	0（△4,180）	1,468,450（ 224,630）	1,468,450（220,450）
北事業所	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）
合　計	0（△4,180）	1,468,450（ 224,630）	1,468,450（220,450）

(8)　介護予防デイサービス事業・元気はつらつデイサービス事業[真庭市からの受託]

【目標】

高齢者に外出の機会を提供し、孤立感の解消ができるよう支援します。

ア 交流の場を設けることで活動の機会を増やし、楽しい時間の提供をします。

イ 介護予防のための運動機能維持向上をめざし、楽しく取り組めるプログラムを実施します。

【実績】

外出機会のない高齢者に交流の場を提供し、活動を支援しました。

ア　外出に楽しみを持っておられたので、実施日には多くのご利用がありました。

イ　在宅生活が継続できるよう、身体機能維持の体操やレクリエーションを実施しました。

元気はつらつデイサービス事業

利用者延べ人数　3,001 名（△255 名）　　〈(　) は前年度対比〉

支所名	利用者延べ人数	金額（円）
北房支所	1,011（　△200）	3,335,610（　△648,580）
湯原支所	0（　△57）	0（　△187,530）
中和支所	340（　11）	1,121,740（　39,330）
八束支所	1,096（　65）	3,616,800（　224,810）
川上支所	554（　△74）	1,827,660（　△238,460）
合　計	3,001（　△255）	9,901,810（　△810,430）

(9)　生活支援短期宿泊事業[真庭市からの受託]

【目標】

地域包括支援センターとの連携を図り、利用者の要望に応えられるプランにより、在宅での生活習慣の改善となるよう生活習慣と体調の管理調整を行います。

【実績】

利用者 2 名

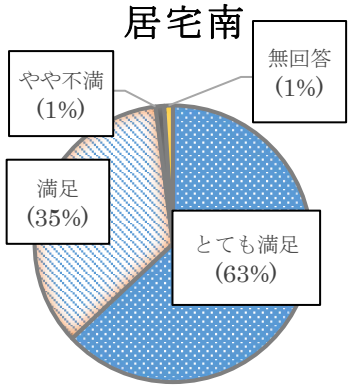
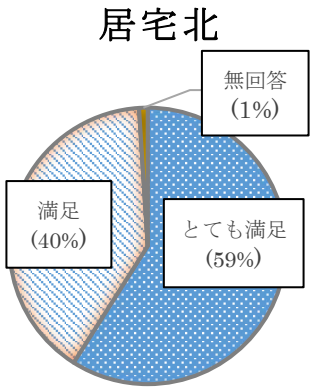
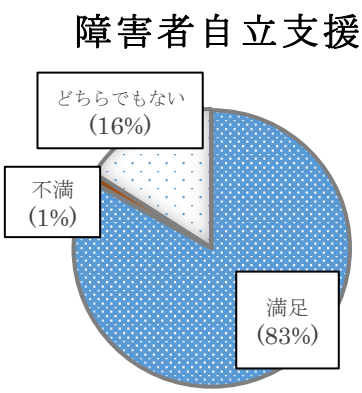
生活支援短期宿泊事業　　〈(　) は前年度対比〉

事業所名	人数	利用日数	金　額（円）
短期入所生活介護事業所（特養やすらぎ）	2（　0）	5（△4）	32,250（△25,800）

(10)　介護事業者として利用者への満足度調査の実施

【目標】

居宅介護支援・訪問介護（障害者総合支援事業）利用者へアンケート調査を実施し、サービスの改善に取り組みます。

【実績】

居宅介護支援事業所（南 87 名・北 72 名）・障害者総合支援事業(40 名)・障害者訪問入浴介護事業(1 名)の利用の方に、本人または家族の方へ記入及び聞き取りのアンケート調査を行いました。回収率は居宅南 88%、居宅北 78%、障害者自立支援 100%、障害者訪問入浴介護 100%でした。多くはほぼ満足という回答でしたが、関係機関とも連携しながら、より一層の資質向上の必要性が伺えました。